

ニュースレター第 42 号をお届けいたします。今号は樋野先生とスタッフの森が担当します。

『訪れる人を温かく迎い入れる』 ～ ユーモア (You more) ～

樋野興夫 (順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長)



この度、新田幸代様から『OCCニュースレター第42号』の原稿を依頼された。2026年6月20日 149回【お茶の水メディカル・カフェ in お茶の水クリスチャン・センター (OCC)】に赴いた。大変有意義な充実した貴重な時となった。2011年3月11日 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災) が発生し、当時 OCC 副理事長であった榊原寛 (1941-2020) 先生が、2012年に【お茶の水メディカル・カフェ】を始められた。1933年3月3日に 三陸で地震の大災害があった。新渡戸稲造 (1862-1933) は 被災地 宮古市等沿岸部を 視察したとのことである。その惨状を 目の当たりにした 新渡戸稲造は『Union is Power』(協調・協力こそが力なり) と 当時の青年に語ったと言われている。

今回、挨拶で【新渡戸稲造が 尊敬するアメリカ合衆国の第16代大統領エイブラハム・リンカーン (Abraham Lincoln: 1809-1865) の大統領就任演説『何人に対しても 悪意をいだかず、すべての人に 慈愛の心をもって』(With malice toward none, With charity for all)』&『リンカーンは、ケンタッキー州の貧しい農家に生まれ、幼少期は厳しい環境で育ちました。父トーマスと継母サラの下、リンカーンは自学自習に励み、読書を通じて 知識を深めていきました。』と 若き日に教わったものである。】&【『涙とともに パンを食べた者でなければ人生の味は分らない』(ゲーテ: 1749-1832)、ゲーテを こよなく敬愛したスイスの作家 ヨハンナ・シュピリ (1827-1901) の『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義は『喜んで 無邪気に 小さなことに 大きな愛を込める』】と語った。

改めて、『お茶の水 (OCC) メディカル・カフェの存在意義と継続の大切さ』を痛感した。スタッフの皆様の【『訪れる人を 温かく迎い入れる = ユーモア (You more)』】姿勢には、ただただ感服する。

「がん哲学外来市民学会 愛知大会 2026」



がん哲学外来市民学会 愛知大会 2026 “知を愛し 紡ぐ、つながる” が、8月29日・30日と2日間にわたり開催されます。8月29日（土曜日）は、第15回認定コーディネーター養成講座。30日（日曜日）は、市民学会として、魅力溢れる豪華講師の皆様のご講演があります。両日とも、“過去・現在・未来を紡ぐ特別な空間”と題し、特別展示が4つ開催されます。盛り沢山の大会企画となっております。詳しくは、下記のチラシをご参照ください。

大会では、今年のカンヌ国際映画祭で最優秀女優賞を獲得した、映画「急に具合が悪くなる」の原作者で人類学者の磯野真穂先生も、講師として講演していただきます。原作を読み、映画も観て、私はがん当事者・がん家族・医療者・親の介護者として、様々な今の立場から、たくさんの感動と学び、今後の道標を得ることができました。

哲学者と人類学者が紡ぎだす往復書簡、思索の伴走者、書きだしたらきりが無い、素晴らしい本と映画でした。早速、ユマニチュードの実践、自分なりの死生観に向き合っていこうと思いました。

愛知大会 2026! 当日参加も可能です。たくさんの方々に、参加していただきたいです。会場で素晴らしい時をご一緒しましょう。皆様とお会いできますのを、楽しみにしております。

お茶の水がん哲学外来・メディカル・カフェ in OCC スタッフ
がん哲学外来市民学会 事務局 森 尚子

プログラム

5階 小ホール
2階 大ホール

魅力溢れる豪華講師が登場します。

堀内 隆雄先生
がん哲学外来
コーディネーター
養成講座

永井 玲衣先生
がん哲学外来
コーディネーター
養成講座

室 圭先生
がん哲学外来
コーディネーター
養成講座

磯野 真穂先生
映画「急に具合が悪くなる」の原作者
人類学者

小野 純一先生
がん哲学外来
コーディネーター
養成講座

西村 綾子先生
がん哲学外来
コーディネーター
養成講座

8/29(土) 養成講座

会場:5階 小ホール
時間:13時～20時(受付:12時)
※1～2の期間のみは無料、3～5まで参加費がかかります。

- ① 明賀 龍男先生(名古屋大学 教授)
- ② 永井 玲衣先生(がん哲学外来)
- ③ 永井先生の哲学対話の実践
- ④ 認定コーディネーター養成講座のグループワーク

8/30(日) 市民学会

会場:2階 大ホール
時間:9時～17時(受付:8時30分)
※市民学会の参加費は無料。

- ① 室 圭先生(がん哲学外来 センター 副院長)
- ② 磯野 真穂先生(人類学者)
- ③ 小野 純一先生(がん哲学外来 養成講座)
- ④ 西村 綾子先生(がん哲学外来 養成講座)
- ⑤ 松岡 宏先生(がん哲学外来 養成講座)
- ⑥ 絆画の贈呈式
- ⑦ 特別対談「未来のがん哲学外来とは」

6階 601・602号室

過去・現在・未来を紡ぐ特別な空間

8/29(土)・30(日) いのちを巡る旅の記録展示会も開催

特別展示①

「旅人と道徳の絆を描く時間」
がんを大病とみなした時代が、旅人と来たかった旅を1枚の絵で叶えた絵画展です。旅人にあった言葉、絵を繋いだ旅の思い出を展示します。

特別展示②

「旅人と道徳の絆を描く時間」
がんを大病とみなした時代が、旅人と来たかった旅を1枚の絵で叶えた絵画展です。旅人にあった言葉、絵を繋いだ旅の思い出を展示します。

特別展示③

「旅人と道徳の絆を描く時間」
がんを大病とみなした時代が、旅人と来たかった旅を1枚の絵で叶えた絵画展です。旅人にあった言葉、絵を繋いだ旅の思い出を展示します。

特別展示④

「旅人と道徳の絆を描く時間」
がんを大病とみなした時代が、旅人と来たかった旅を1枚の絵で叶えた絵画展です。旅人にあった言葉、絵を繋いだ旅の思い出を展示します。

がん哲学外来市民学会 愛知大会2026

知を愛し 紡ぐ、つながる

同時開催 第十五回 認定コーディネーター養成講座

愛知大会大会長 松岡宏(徳田医科大学総合消化器外科 教授) 実行委員長 原田かな子(ジャチホコ記念カフェ)

がん哲学外来とは
対話を通じてがん患者さんやそのご家族の「心の悩み」に寄り添う場です。治療法を助言するのではなく、専門家や経験者が対話の相手となり、患者さんが孤独から解放され、自分らしく希望を持って生きるための「心の処方箋」を一緒に探す活動です。

愛知大会について
知を愛するというのはフィロソフィの和訳で、今一度がん哲学の原点に返るという思いと愛知県開催の意味を持ちます。紡ぐ、つながるというのは病院と家庭の関をつなぐ第3の場の存在であり、人の命と想いを紡ぎつなげる本学会の活動を表しています。

8/29(土) 30(日)

ウィングあいち 5階小ホール/2階大ホール/会議室601・602
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 | 主催:がん哲学外来市民学会

養成講座のお申込み

【料金】※お申込みは
会員5,000円/非会員8,000円
どなたでもお申込みできます。

市民学会のお申込み

参加無料
どなたでも参加できます。

がん哲学外来
市民学会サイト

愛知大会
特設サイト

愛知大会
facebook

愛知大会
Instagram